



新型原子炉 ATMEA1 が IAEA の概念設計安全性能審査を完了

三菱重工業と仏 AREVA グループ（アレバ）の合弁会社である ATMEA 社は、同社が開発を進めている新型第 3 世代原子炉「ATMEA1」の安全設計概念について、国際原子力機関（International Atomic Energy Agency、IAEA）による審査が完了したと発表した。

この審査は、IAEA が編成した国際的な専門家チームが ATMEA1 の概念設計について、最新の IAEA 安全基準への適合性を評価したもので、安全設計概念が、IAEA の要求事項を完全かつ包括的に反映しているか確認することを目的としていた。

IAEA のレポートは、現在実施中の基本設計のベースである ATMEA1 の概念設計が IAEA の基本安全原則（IAEA Fundamental Safety Principles）並びに設計・安全審査に関する主要要求事項を満足していると結論付けた。

ATMEA1 の基本設計は順調に進捗しており、当初計画通り、許認可申請準備は 2009 年末までに完了する予定。

ATMEA 社のステファン・フォン・シャイド社長は「この IAEA による設計審査の完了は、安全性能に関わる我々の選択、判断の妥当性を裏付ける重要な一歩だ。今回の審査に携わっていただいた IAEA 関係者及び外部の専門家の方々のご尽力に、感謝の意を表したい」と述べた。

ATMEA 社は、新型原子炉 ATMEA1 の開発・販売を目的に三菱重工とアレバが 2007 年 11 月、パリに設立した合弁会社で、世界の中型原子炉市場で主導的なポジションを狙う。

ATMEA ホームページ：<http://www.atmea-sas.com>

三菱重工 ホームページ：<http://www.mhi.co.jp>

アレバ ホームページ：<http://www.areva.com>

以 上